

# 富士市新環境クリーンセンター 建設工事



施設概要

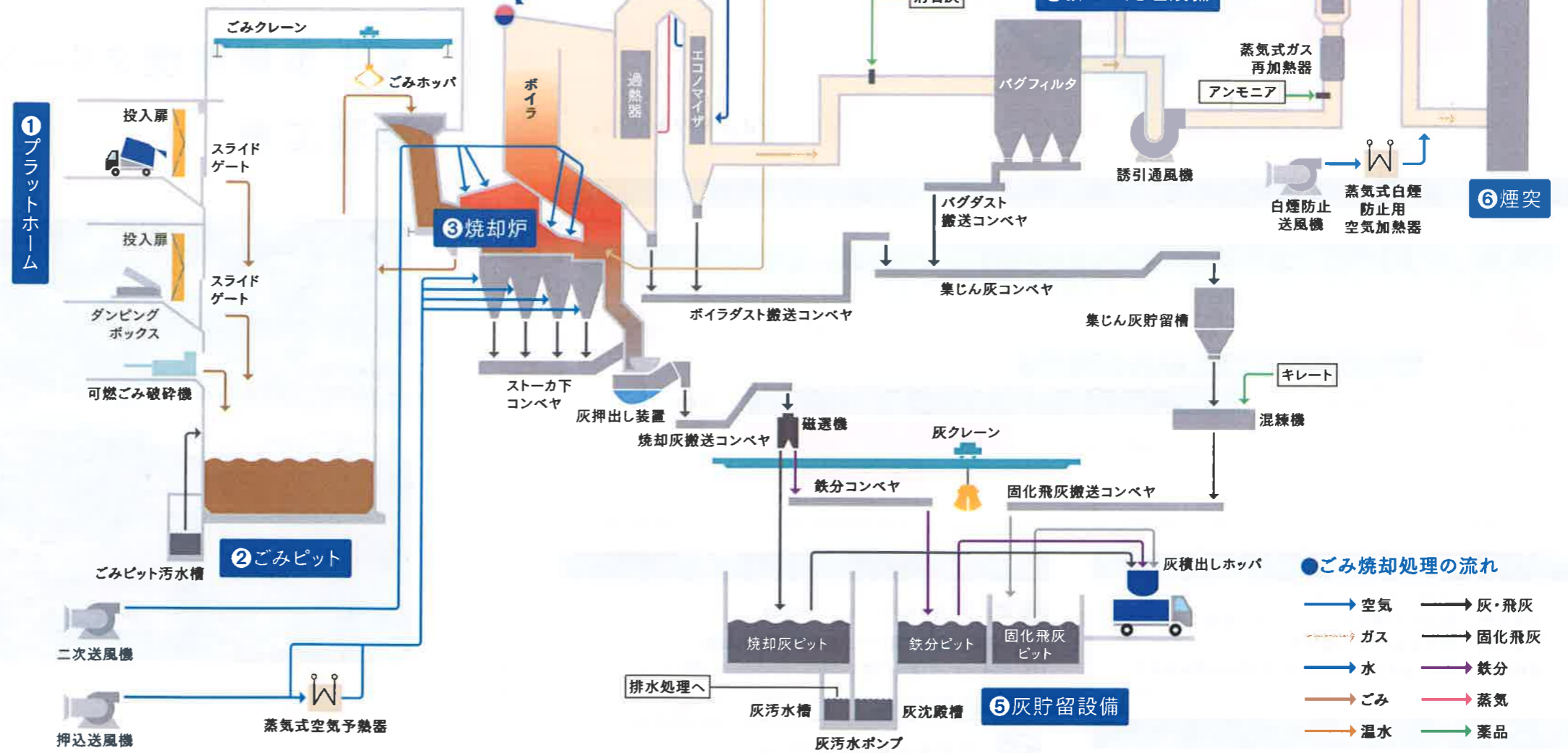
ごみ焼却能力	250t/日(125t/日×2炉) 連続運転式ストーカ焼却炉	排ガス基準 (O <sub>2</sub> 12%換算)	項目	自主排出基準
焼却処理対象物	可燃ごみ、し尿汚泥、下水汚泥、他		ばいじん	0.01g/m <sup>3</sup> N
破碎能力	2.72t/5h(平均)		塩化水素	40ppm
破碎処理対象物	剪定枝		硫黄酸化物	20ppm
			窒素酸化物	50ppm
			ダイオキシン類	0.01ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
		水銀	0.03mg/m <sup>3</sup> N	

ごみ焼却施設

少ない空気量で完全燃焼させることができる  
並行流焼却炉の採用により、安定した燃焼を実施します。  
また、高度な排ガス処理システムの導入で、有害物質の排出の  
低減を実現し、安全、安心の焼却処理を行います。

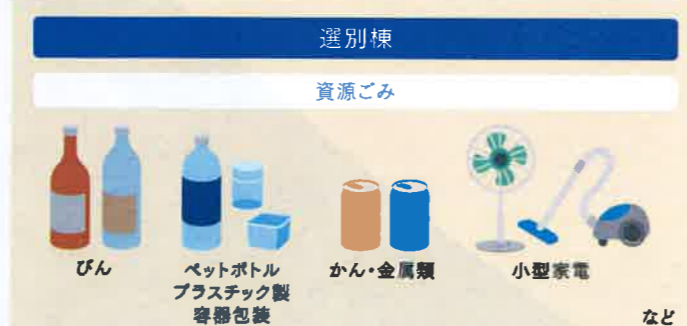
構成する主要設備

- 1 プラットホーム**  
収集されたごみは計量機で車両ごと計量し、ごみピットに投入します。
- 2 ごみピット**  
ごみを一時的に貯留します。クレーンで攪拌し、均質な状態に整えます。
- 3 焼却炉**  
ごみを高温で焼却処理します。高温で焼却することにより、ごみは熱分解され、  
排ガスと焼却残さ(焼却灰、飛灰)に分かれます。
- 4 排ガス処理設備**  
ごみの焼却により発生する排ガスの中に含まれる、有害物質を除去します。
- 5 灰貯留設備**  
焼却残さを貯留し、搬出用車両に積み込みます。
- 6 煙突**  
浄化した排ガスを大気に放出します。
- 7 余熱利用設備**  
排ガスがもつ熱エネルギーをボイラで回収して蒸気をつくり、次の設備で  
利用します。
  - 1. 発電設備**  
蒸気の熱エネルギーでタービンを動かし発電します。
  - 2. 温水供給設備**  
蒸気の熱で温水をつくり、余熱利用体験棟に供給します。

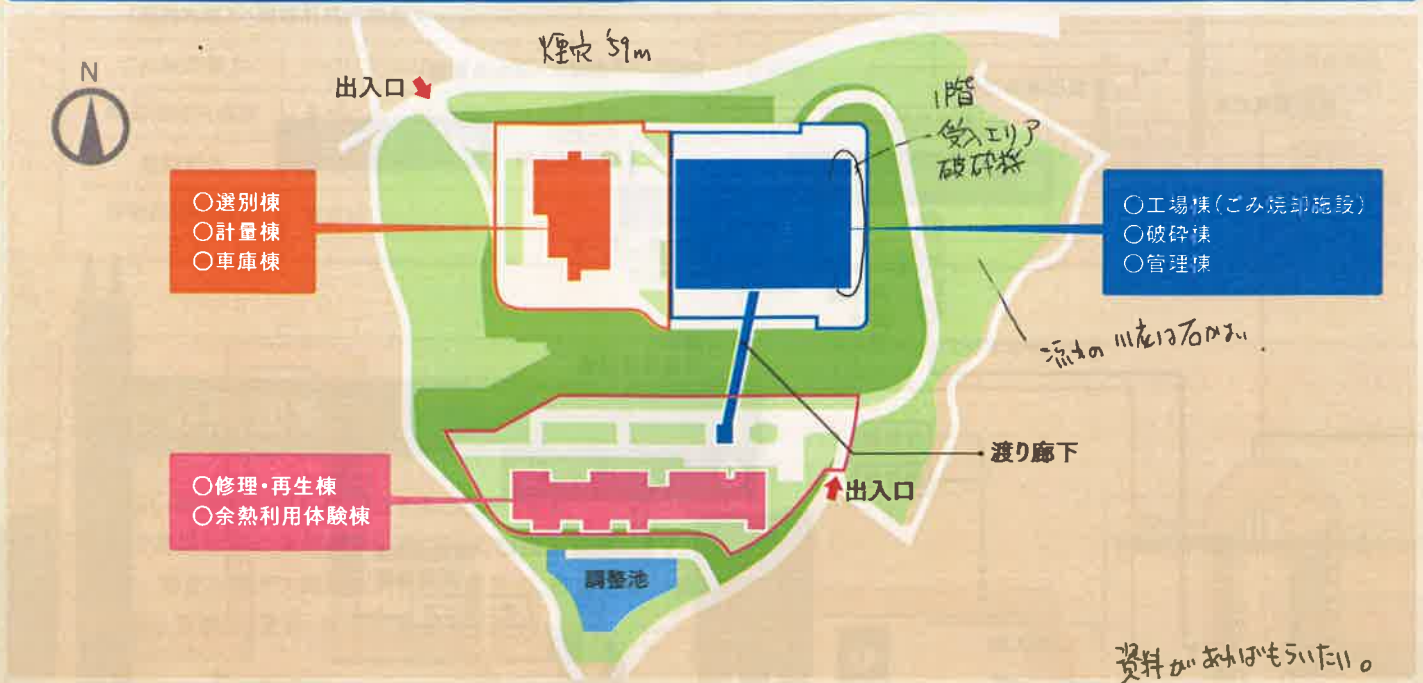


リサイクル等の施設

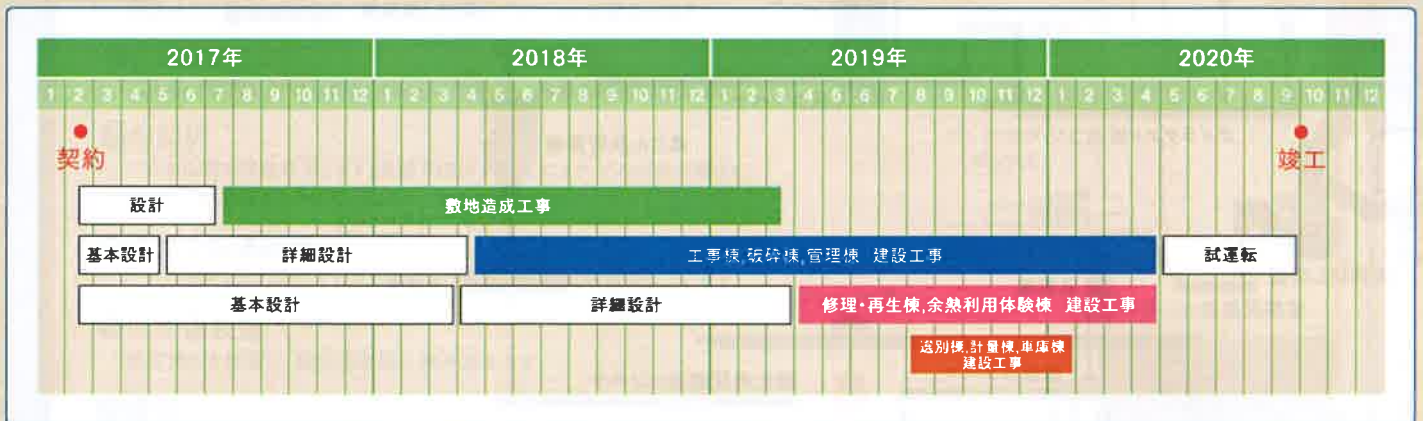
市民の皆様が直接持ち込む廃棄物を原料として  
再利用するために、資源ごみは選別棟で選別・保管します。  
剪定枝は破碎棟で破碎処理し、  
チップやミンチにして資源化します。  
まだ使える家具類は修理・再生棟で補修を行い、  
再利用を推進します。



施設配置図



工事工程



工事概要

- 工事名称：富士市新環境クリーンセンター建設工事
- 工事場所：静岡県富士市大淵地先
- 建設期間：平成29年2月16日から平成32年9月30日まで

工事場所位置図



発注者

**富士市** 新環境クリーンセンター建設課  
 〒417-8601 静岡県富士市永田町1丁目100番地  
 TEL. 0545-51-0123(代表) FAX. 0545-51-0522

設計施工監理等支援業務

**株式会社 東和テクノロジー**  
 〒730-0803 広島県広島市中区広瀬北町3番11号 和光広瀬ビル5F  
 TEL. 082-297-8700 FAX. 082-295-3216

受注者

川重・石井・井出 特定共同企業体

代表企業

**Kawasaki** 川崎重工業株式会社 東京本社  
 〒105-8315 東京都港区海岸一丁目14-5  
 TEL. 03-3435-2111(代表) FAX. 03-3436-3037

構成員

**株式会社 石井組** **株式会社 井出組**